

団塊シニア世代!! セカンドデビューのすすめ

Vol.

10
2014.11

なが
さき

ダンカーズ

★★★★★★★★★ Baby-boom generation! Recommendation of the second debut.



特集 長崎オリーブ研究会

オリーブ栽培のノウハウを次の世代へ残したい!
「新現役の会」から生まれた先見の地域貢献活動

- まちなかダンカーズ
「NPO法人・まちづくり屋」
理事長 高島茂夫さん
- ダンカーズしょっと/中川雄二さん、広子さんご夫婦
読者アンケートに見る団塊シニア世代のライフDATA考

講座・イベント・お役立ち情報

- ダンカーズチョイス
・公民館講座 市民映画会
・長崎の夜・感激の出島
・長崎伝習所「自分新化講座」
2014 福地茂雄プロデュース編 Part II
～創造の達人達～
・ながさき共感寄付
・高齢者いきいきカード
・「長崎市住宅性能向上リフォーム支援
補助事業」申請受付中
・木造戸建住宅の耐震診断・改修工事への
助成

オリーブ栽培のノウハウを次の世代へ残したい！
「新現役の会」から生まれた先見の地域貢献活動

長崎オリーブ研究会



あぐりの丘の駐車場から、案内板の指示に従い、なだらかな坂を右に登ると、「あぐりの丘・オリーブ園」という濃い緑の看板が見えてくる。昨年からは始まった「あぐりの丘つくりて発掘プロジェクト」に参加し、園を管理しているのは「長崎オリーブ研究会」だ。

さわやかな風吹くあぐりの丘で、植えたオリーブの世話をする会の皆さん

「長崎ブランド」を作るっ！

団塊シニア世代の人たちが、それまで培ってきた知恵・経験・技術を活かして充実したセカンドステージにしようとして設立したNPO法人「新現役の会長崎センター」。その活動から生まれたのが、長崎にオリーブの普及を目指す「長崎オリーブ研究会」だ。次世代へ「緑の財産オリーブを残そうと、平成24年に正式に発足し、普及活動を始めた。

設立の理由には、九州の風土がオリーブを育てる環境に適し、自分たちの「長崎ブランド」としてオリーブオイルを作ることができる。耕作放棄地を有効活用できる。福祉施設や障がい者の自立支援にもつながる、などがあった。



松尾健蔵さん

現在の65人の会員が所属する研究会の会長を務めるのは、元NNT勤務の松尾健蔵さん（68歳）で、「苗

木はイタリアから輸入したものです。オリーブ栽培の手間はみかん栽培の5分の1。収入はみかんよりも大きく効率がいい」と説明する。オリーブ園試験栽培以外の具体的な活動としては、「イタリアから専門家を招いて開催する栽培講習会、料理研究家によるオリーブ

オイル学習会の開催、モデル小学校への食育のための植樹、福祉施設への自立支援のための植樹などを行っている」という。

長崎を元気に！ 研究会を支える頼もしい人材

毎年自宅にオリーブの苗を植え、育てながら研究会に参加しているのは、副会長の井上幸雄さん（65歳）。現在も



井上幸雄さん

ISO審査員として働いている現役だ。「栽培に大切なことは排水と

土壌。自宅の木は3メートルに育っていて、実もなっている。自家製のオリーブ茶も試作しています。自らの栽培経験のノウハウを会員にアドバイスできる貴重な人材だ。「この研究会は、愉快な仲間がたくさんいて、自主性があり、理想的なサークルです」と、井上さんは笑顔で語る。



西田誠さん

研究会の、いわゆる金庫番的な立場で事務局長を務めるのは、西田誠さん（65歳）。生活協同組合を退職後

長崎オリーブ研究会

会費：個人会員 入会費 1,000円
 法人会員及び団体 入会費 5,000円
 申込先：〒852-8016 長崎市宝栄町7-4 松尾健蔵宛
 詳細や活動状況は下記のホームページを参照してください。
<http://nagasaki-olive-jopa.jimdo.com/>



平成26年5月11日に実施されたあぐりの丘の植樹祭。たくさんの参加者でにぎわった

に「新現役の会長崎センター」に入り、松尾会長と井上副会長と3人で研究会を立ち上げた。

やり甲斐について西田さんは、「オリーブ栽培に関心を持つ人が増えているので、活動をしてよかったと思う。今は途上だが、園に植えたオリーブの実がなり出したら、達成感を感じるかな。オリーブの成長を感じること、実になるまでが励みになる。元気の素になります」と話す。「課題はもつとオリーブ栽培を普及していくことですね。知ってもらおう活動をする。これはまだまだかな」と、事務局長らしく冷静に分析する。



鶴田康夫さん

その課題でもある研究会活動の副会長（広報担当）の元郵便局長・鶴田康夫さん（66歳）だ。会では主にホームページ、チラシ、ポスター作りなどを行っている。

入会のきっかけは、「地元のことを知りたいと思ったことと、過去の人間関係以外のネットワークを築きたいと思ったことです」と鶴田さん。「研究会はフラットな関係です。利害なし。素の自分を出せます。楽しく活動できますね。園にオリーブの実がなるまで楽しみです」と、やり甲斐を感じている。「今、少しでも多くの人に研究会を知ってもらおうためにどうしたらいいか、頭を痛めている



新1年生の入学を記念し、食育の一環としてオリーブを寄贈し植樹

る。そのための広報イベントをしたい。もつと若い人を巻き込みたいですね」と、今後の課題と抱負を語ってくれた。



長崎オリーブ研究会の女性メンバー

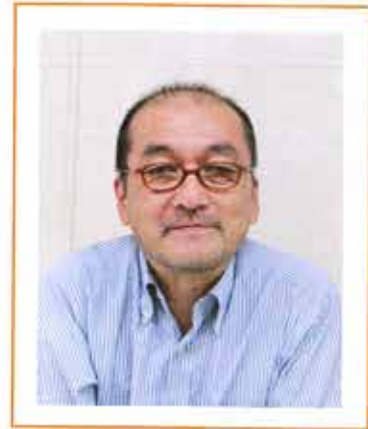
夢は長崎をオリーブの丘に！



花が咲き、実がなるのは新1年生が6年生になるころ。みんなでお世話します

研究会の将来の目標について質問すると、「九州で100万本。長崎で10万本のオリーブの木を育てること」と、松尾会長は力強く答える。「独自のオリーブオイルや関連商品を開発し、「長崎ブランド」として育て広めたい」と視野はさらに広がる。研究会が掲げる「あぐりの丘をオリーブの丘にしよう」という夢についても、井上副会長は、「私は実現できる夢だと思います。苗木を育てていく励みになる」と自信をもつ。

研究会には、普及活動や資金面の悩みもあるようだが、「そんな苦労よりも、あぐりの丘にオリーブの木が育つ3年後が楽しみ。活動の励みになる」と、みな口をそろえる。将来を見据えて、「オリーブ樹から広がっていく六次産業化を、地域活性化に繋げよう」「長崎はオリーブで元気にすーで！」を合言葉に、研究会の精力的な活動は日々、続いているのである。



NPO法人・まちづくり屋 理事長
(有)長崎まちづくり屋 取締役社長
日本「長崎ねこ」学会・コーディネーター

高島茂夫さん

たかしましげ お
(63歳)

学生の事業参加にこだわる理由は、まちづくりは人づくり。次の世代を担う人が長崎に育っていくことが大事だと思うからです。次の長崎グッズのテーマは「尾曲がり猫」です。



学生の個性と力を長崎グッズ開発に活用！ 新しいまちづくりのカタチの提案&実践者

平成15年、事業を通じてまちづくりを目指す「長崎伝習所・長崎まちづくり事業化研究塾」に所属している時に、長崎グッズの開発をテーマに研究を始めた。翌年、趣旨に賛同した塾の学生達(一期生)と任意団体「まちづくり屋」を立ち上げ、そこで高島さんが素案として出したものを、学生達が練り上げ、商品化したものが、地元の話題を集めた「カステラねくたい」だった。

この経験から「学生達にビジネスを疑似体験させて、即戦力として、社会に送り出すという次のテーマが生まれました」と高島さん。学生達にとっても、実際のビジネス体験が就職前にできるメリットもあった。二期生の学生達は、長崎のねくたいデザインを全国公募しコンテストを実施。最優秀賞に選ばれた「電車ねくたい」を商品として開発し、さらに実績を重ねた。

事業責任者である高島さんのスタンスは、「グッズを開発する中で学生達に学んでもらう。ハードルを手の届く高さに設定し、それぞれの特性や個性を活かして、学生達のまちづくりへの参加を促す」というもの。学生達の活動を見守りながら、失敗しそうなところ

はフォローし、軌道修正する。もし失敗した場合にも、次の手を常に考えていたそう。

その後、様々なネクタイやハンカチを開発しながら、「まちづくり屋」はNPO法人化、有限会社化され、現在に至っている。長崎のまちづくりについて、「本当の意味でワールドワイドの視点をもつことと、自分自身が(外に向かって)出ていくことが必要です」と、高島さんは持論を語る。

最後に団塊シニア世代へメッセージをお願いと、「持っているスキルは、ひとりでも現場に持って行くのではなくて、若い人に伝えて、有効に活用してほしい。引っ込んである場合じゃない。ぜひ表に出てほしい。十二分に活躍してほしい。死ぬまで現役ですよ」という明快な答えが返ってきた。

ルーツは長崎にあり!
尾曲がり猫写真展

尾曲がり3兄弟

9/8(火)~21(月)
1・2・3・4階

〈入館コンテスト〉
お好きな写真の最良な作品を下さい
抽選でグッズとグルメ券
※1階案内所

高島さんは平成20年に結成された日本「長崎ねこ」学会の理事を務めている

データ

NPO法人・まちづくり屋
(有)長崎まちづくり屋
長崎市魚の町6-4 呑田ビル3F
TEL/095-816-3383
<http://www.machidukuriya.com>
<http://www.machidukuriya.org>



シャッターペインティング
若者達がスキルを活かして楽しく町づくりに参加できるような取り組み



まちづくり屋のスタート商品
「カステラねくたい」と「電車ねくたい」

「まちなかダンカース」とはいきいきとしたセカンドデビューを实践している団塊シニア世代をご紹介するコーナーです。



元気な団塊シニア世代の合言葉 「ダンカーズしよっと?」

仕事人間の私を支えてくれた家内への恩返し
故郷・長崎で夫婦仲良くセカンドデビュー!

中川 雄二さん(62歳)
広子さん(67歳)ご夫妻

大学進学のために18歳で北海道帯広市から上京し、卒業後は東京で就職しました。長崎出身の家内とは社内結婚で、専業主婦となった家内に家庭のことは任せて仕事に励む毎日でした。

定年が近づいた2011年3月11日、東日本大震災が起きました。私たち夫婦はけがもなく、住居へのダメージもほとんどありませんでした。家内は自分たちが難を免れたことへの感謝の気持ちから、被災者へのボランティア活動を始めました。しかし、そんな状況の中で家内の肉親が病のため死去。その悲しみも癒えぬうちに、愛犬をも失いました。震災後の緊張が解けないままの慌ただしい日々。その中で立て続けに愛する存在を失った家内は体調を崩し、心身ともに疲弊していきました。それまで何もかも家内任せで生きてきた私ですが、どうにかして立ち直らせることはできないかと模索し続けました。そして定年の時期を迎えたことも重なり、思い切って家内の故郷である長崎に来る



ことを決めました。

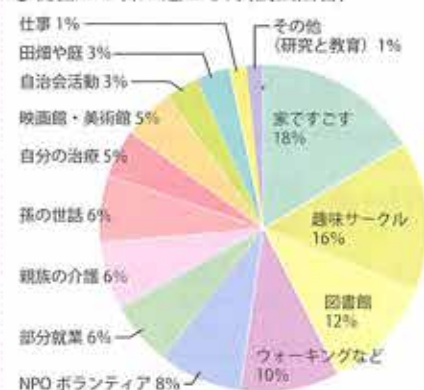
故郷とは有り難いものです。長崎に来て1年半になりますが、家内は元気を取り戻し、東京時代からの趣味であるカルトナージュ(フランスの伝統的手芸)を再び始めました。また、障害者施設でのボランティアの経験を活かし、地域のお役にたてるような活動も考えているようです。

現在の私はセミリタイアなので、月に数回東京の会社に出社していますが、いずれ本格的にリタイアすれば長崎でセカンドデビューをすることになります。長い結婚生活の中では日々の仕事に追われ、夫婦共通の趣味や楽しみを持ったことはありません。せっかく2人でダンカーズに入れていただいたのですから、長崎では人的ネットワークを広げ、家内ともども多くの友人を作り、知り合った方達と楽しく過ごしたいと思っています。

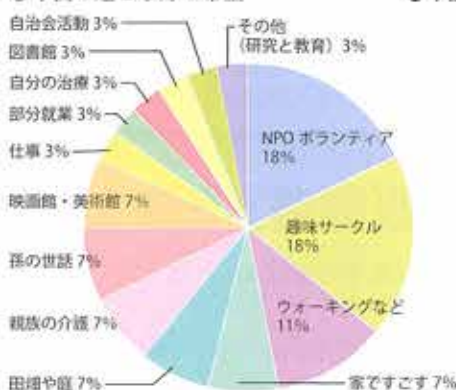
読者アンケートに見る団塊シニア世代のライフDATA考

あなたは現在、一日をどんなふうにご過ごしていますか? 今後どんなふうにご過ごしたいと思いますか?

●現在の1日の過ごし方(複数回答)



●今後の過ごし方の希望



●今後、充実した生活のためには何が必要ですか?



現在の1日の過ごし方のトップは、「家ですこす(テレビ、映画、読書など)」。今後どんな風に過ごしたいかは、「NPO/ボランティア活動をしたい」「趣味・サークルに参加したい」。

「生涯学習に関する世論調査」(平成24年・内閣府)によれば、高齢者が生涯学習を行っていない理由として①仕事に忙しくて時間が無い。②きっかけがつかめない。③一緒に活動をする仲間がいないが挙げられた。今回の「ながさきダンカーズ」アンケートでは、一日の過ごし方は「家ですこす」が1位であった。予想外の理由だ。やはり、きっかけがつかめないのだろうか? 仲間がいないのであろうか?

平成24年Vol.6で実施したアンケートでは、セカンドデビューのきっかけとして必要なものとして、「活動の情報」が一番多く、「仲間」、「場所」が続いた。情報誌「ながさきダンカーズ」はセカンドデビューを応援する情報を、「ながさきダンカーズ倶楽部」は、仲間づくり・居場所づくりの場所を提供している。何かきっかけを掴んでいただければうれしい。

アンケートに添えられたコメント

- ・定年後に自分の居場所や活動をしている方たちの様子、状況を見る、聞ける、体験する場所があれば、と考えます。
- ・いろんなたくさんの人達と知り合える場所と機会があればと思う。
- ・現在は両親の世話をメインにやっており、自由時間は家の仕事など必要にかられたこと。今後は、情報を得て、各サークルの仲間になりたい。

公民館講座 市民映画会



12月20日(土)

落ちた偶像(1948年イギリス/91分)
14:00~16:00

3月21日(土)

そして誰もいなくなった(1945年イギリス/97分)
14:00~16:00

1月17日(土)

三つ数えろ(1948年アメリカ/118分)
14:00~16:30

2月21日(土)

生命の宝庫亜熱帯の森 沖縄・奄美の島々(35分)
耳をすまして(ツシマヤマネコについて)(16分)
皆で考えよう地球環境問題(35分)
14:00~16:00



(注)いずれも13:00開場します。

場 所 市民会館2階(視聴覚室)

対 象 一般 70人(先着)

受 講 料 無料

申込方法 当日受付(直接ご来館ください。)

長崎市教育委員会生涯学習課

[お問い合わせ] TEL.095-825-1948

FAX 095-820-2605

長崎の夜・感激の出島



西洋音楽

11/21(金)・22(土)・28(金)・29(土)・
12/5(金)・6(土)

往時の出島では、オランダ商館員や召使いによつて西洋の楽器が奏でられていました。また1820年、日本で最初のオペレッタが上映されています。西洋音楽伝来の地「出島」で、長崎の第一線で活躍する演奏家たちのコンサートをお届けします。

オランダ芝居

12/12(金)・13(土)・19(金)・20(土)

1820年9月17日、出島内でオランダ商館員によつて上映された作品が、日本における最初の近代演劇といわれています。これにちなみ、当時上映された作品の一部や、出島で実際に起こったエピソードを、説明しながら現代風の演劇で分かりやすく紹介します。



会 場 出島新石倉

開催日 平成26年11月21日(金)~
12月20日(土)

※上記期間中の金・土曜日に開催

時 間 19:00~19:45

長崎市出島復元整備室

[お問い合わせ]

TEL.095-829-1194

木造戸建住宅の耐震診断・改修工事への助成 **先着順受け付け**

昨年、耐震改修促進法が改正され、旧耐震基準で建てられた木造戸建住宅においても、耐震診断の実施に努めることとなりました。長崎市では木造戸建住宅の耐震化に対し助成事業を行っています。この機会に耐震診断を受けてみませんか。

対象=昭和56年の建築基準法の改正以前に建築された市内にある木造戸建住宅で、住宅の所有者又は所有者の二親等以内の親族が居住している住宅又は耐震改修工事実施後30日以内に居住する住宅。ただし、除却工事については居住の有無は問いません。

助成額=耐震診断は個人負担5,400円でできます。その他は、耐震改修設計費の3分の2(7万円を限度)を助成。耐震改修工事費の4分の3(90万円を限度)を助成。また、地震時等に著しく危険な密集市街地に限り、除却工事費の40%(30万円を限度)を助成。

申込方法=建築指導課(商工会館5階)にある申込書に記載の上、必要書類を添付して建築指導課へ提出。(申込は長崎市のホームページからも入手可)。

申込期間=12月26日(金)まで随時受付の予定です。

◎先着順受け付け、予定戸数になり次第締め切り。

◎詳しくは建築指導課にお尋ねください。

長崎市建築指導課(商工会館5階)

[お問い合わせ] TEL.095-829-1174

創造

2014 福地茂雄プロデュース編 Part II

の達人達

カエル・カワル・カソクスル

自分新化講座

全6回

第4回長崎伝習所特別講座

 <p>第1回 9月19日(金) 19:00~21:00 アサヒグループ ホールディングス株式会社 取締役 福地 茂雄 「読書がもたらす豊かな人生」 終了しました</p>	 <p>第2回 10月30日(木) 19:00~21:00 語り部・かたりすと 元NHKキャスター 平野 啓子 「心・身体・語り部・平野啓子」 終了しました</p>	 <p>第3回 11月26日(水) 19:00~21:00 デザイナー イラストレーター 水戸岡 鋭治 「デザインは公共のために」</p>	 <p>第4回 12月17日(水) 19:00~21:00 演劇院・三の浦代表取締役社長 桑野 和泉 「九州・観光まちづくり」</p>	 <p>第5回 1月15日(木) 19:00~21:00 プロデューサー 残間 里江子 「創造のための プロデューサー感覚」</p>	 <p>第6回 2月12日(木) 19:00~21:00 ファッションデザイナー 小篠 ゆま 「現代のライフスタイルの ファッションデザイナー からの授業」</p>
---	--	---	---	---	--

会場:長崎ブリックホール国際会議場

◎対象 ◎一般・学生(高校生・大学生)全自由席
◎聴講料 ◎当日券 1,000円(学生 500円)
※開催当日17:00から会場で販売します(数量限定)。

長崎伝習所事務局(長崎市民活動センターランタナ内)
[お問い合わせ] TEL. 095-829-1125

ながさき共感寄付

長崎のNPO活動を支える寄付の手助け!
新しい応援プロジェクトがはじまりました。

2014年度寄付先団体

NPO法人輝(テライト)
笑っているうちやんをふやし、こども
とかあちゃんを、もっと笑顔に!!

音浴博物館
消え去ってゆく音を残し伝えていく博
物館のために

NPO法人DV防止ながさき
DV被害を受けた母と子への支援

詳しくは、「NPOながさき」
ホームページをご覧ください。
<http://npo-nagasaki.jp/>



ながさき共感寄付事務局 (NPOながさき内)
[お問い合わせ] TEL / FAX 095-826-1771

高齢者いきいきカード

市内の公共施設が無料で利用できる便利なカードです。
身分証明書をご持参のうえお申込みください。

対象:市内にお住まいの60歳以上の方
申込場所:高齢者すこやか支援課、行政センター、支所

無料入園(館)できる施設

- ・グラバー園
- ・原爆資料館
- ・シーボルト記念館
- ・野口彌太郎記念美術館
- ・べつ甲工芸館
- ・古写真資料館
- ・埋蔵資料館
- ・出島
- ・科学館
- ・旧香港上海銀行長崎支店記念館
- ・ペンギン水族館
- ・須賀五々道美術館
- ・永井隆記念館
- ・清水崖展示館
- ・伊王島海水浴場交流施設
- ・心田庵
- ・端島見学施設
- ・遠藤周作文学館
- ・亀山社中記念館
- ・ロープウェイ(半額)
- ・老人福祉センター(6カ所)
- ・老人憩いの家(11カ所)



長崎市高齢者すこやか支援課
[お問い合わせ] TEL. 095-829-1146

「長崎市住宅性能向上リフォーム支援補助事業」申請受付中

長崎市では、既存住宅のバリアフリー化、省エネ化及び防災化等の性能向上を伴うリフォーム工事(対象工事費の合計が50万円以上のもの)に、対象工事費の一部を補助します。

●補助金額

対象工事費の1/5を補助します。補助上減額;バリアフリー・安全型、省エネルギー型、防災型のおのおの全て「10万円」まで

●補助対象となる改修工事

(補助対象工事)
対象となる全ての工事費が50万円以上(税抜き)で、市内に本社がある法人又は市内に住所がある個人の施工業者が施工する工事です。

●申請できる方(補助対象者)

市内に住宅を所有し、現にその住宅に居住又は居住を予定している方(完了実績報告書提出までに、対象住宅に住所があること)で、市税の滞納がない方。

◎受付期間:平成26年12月26日(金)まで
◎当補助金は、予算がなくなり次第、終了させていただきます。

補助の内容をお聞きになりたい方は、まず下記にお電話ください。
長崎市住宅課(桜町第2別館 2階) TEL. 095-829-1189
受付時間 午前8時45分から午後5時30分まで

ながさきダンカーズ倶楽部

団塊シニア世代の「仲間づくり」「出番づくり」そして「居場所づくり」を応援する《プラットフォーム》です。

団塊シニア世代のセカンドデビューを応援する「ながさきダンカーズ倶楽部」へ参加しませんか!

だれでも参加できます!

例会のご案内

12月「年忘れ交流会」

・日時:12月18日(木)18:00~
・場所:長崎県婦人会館(桜馬場1丁目)
・会費:2,000円程度(参加費500円+飲食代)

1月例会

・日時:1月15日(木)18:00~
・場所:市民活動センター ランタナ
・参加費:500円

楽しい! 簡単! 便利! 世界が広がる!

「団塊シニアのためのiPadいきいき体験会」
～簡単な操作や楽しいアプリを体験する～

- 12月体験会:12月4日(木)、11日(木)、18日(木)
- 1月体験会:1月15日(木)、22日(木)、29日(木)
- ・時間:毎回10:00~12:00
- ・場所:長崎市民活動センター
ランタナ2階会議室(長崎市馬町21-1)
- ・参加費:3回コース2,000円
- ・定員:各月10人

*iPadは1人1台ご用意します。



《ながさきダンカーズ・ネットワーク》



ながさきダンカーズ倶楽部

●設立:2011年4月(旧)長崎県社会福祉協議会
●目的:団塊シニア世代のセカンドデビューを応援し、生き生きとした生活を送るための居場所づくり。
●活動:月例会(毎月第1水曜日)
●イベント:年忘れ交流会(毎年12月18日)
●その他:ボランティア活動、地域貢献活動
〒850-0022 長崎市馬町21-1 市民活動センター1階(長崎県庁裏側)

団塊シニア世代《プラットフォーム》

仲間づくり 居場所づくり
セカンドデビュー 出番づくり
世代交流 自立

「ながさきダンカーズ倶楽部」「iPad体験会」についてのお問い合わせ
TEL.090-2557-4393(井手)
ホームページ <http://www.dankers.justhpb.jp/>

ダンカーズ 検索

ながさきダンカーズ 編集長 おすすめ

アナログレコードを聴きながら...

部屋の片隅にレコードがほこりをかぶって、眠っていませんか。保存しているレコードを聴きたいけど、聴けない人たちがたくさんいることを知った。レコードをゴミとして捨てたら、思い出も一緒に捨ててしまうことになる。

参加しているNBCラジオ毎週土曜日12時から始まる、公開生放送「集まれ!飛び出せ!団塊フレンズ」で流す音楽は、CDではなくLPレコードを使っている。たまにパチパチとノイズが入ったり、針が飛んだり、レコード特有の現象が起きる。音楽を担当する者として、これは、これで楽しい。

最近音楽の聴き方は選択肢がぐーんと広がってきた。ハイレゾという、CD音質を上回る超高音質の音楽配信まで登場した。一方、欧米の若者を中心にアナログレコードの人气が復活し、売り上げ枚数は過去水準に迫る勢いで毎年増加しているという。アナログを体験していない若者にも、温かみのある音の良さが見直されているようだ。

10月から毎月第2水曜日に「アナログレコードを聴きながら...」という催しを始めた。若いころ食費を切り詰めながらも買い求めたレコード。楽しい、悲しい、苦い思いがいっぱい詰まった愛聴盤の数々。そんなレコードを持ち寄り、曲を聴きながらその時代や音楽について、それぞれが語る。参加している団塊世代の多くが、この時代だけは昔を振り返り、熱かった私たちの時代の音楽に浸る。歌謡曲、ジャズ、ロック、クラシ



ックそしてフォークと持ち込むレコードのジャンルはさまざま幅広い。人生と連れ添ってきたアナログレコードだからこそ味があるらしい。

今回は12月10日(水)17時から、住吉町フラワーショップ ヴェルデにて開催。

お問い合わせは、ながさきダンカーズ倶楽部 ☎090-2557-4393(井手)までご連絡ください。

ながさきダンカーズ通信

お酒が好きで、外で飲む回数もちょっとだけ多い。長崎には居酒屋がナイと嘆いていたら、出会った長崎人から一緒に探そう、と相成った。居酒屋の定義は奥深い。が、居酒屋道の神髄は「一献入魂!一杯入魂!」と、団塊手前の長崎人のセリフにつける。(編集長)

先日、長崎県すこやか長寿大学校「シニアいきいきカレッジ」の開校式があった。長崎校、佐世保校から59人の受講生が出席、平均年齢71歳(最

高齢は80歳)。みんなの意欲と熱意に圧倒された。65歳の自分はまだまだと感じた。「一丁上がりの」人生から、「一丁やったる」人生へ。(N)

相次ぐ台風接近と「がんばらんば国体」で、あたふたしている間に一気に秋が深まった。ボランティアやイベント参加にも求められる「団塊力」協力しているつもりが、実は視野を広め、うれしい出会いにも繋がるものだ。(O)

秋の日は釣るべ落とし、を実感の日々です。人生も似たようなもので、後半を過ぎると「早いもので…」といってしまう。でもダンカ

ーズに「釣るべ落とし」はご無用。やりたいことが、まだまだたくさんあります。(I)

秋になれば、毎週イベントが続きますが、行政をはじめ様々なイベント企画元が、イベント動員可能人員を奪いあうように、自己主張してきます。どこかで調整できないのかな? 限りある長崎市民の奪い合いを。(M)

年の瀬もまもなく。今年も暮れていきますね。この時期、この一年、何をしたかな、と手帳をめくってみるのが恒例ですが、今年は仲間が増えました。確かな実績でした。(けい)

発行元

ながさきダンカーズについてのお問い合わせは下記までご連絡ください。

特定非営利活動法人 新現役の会長崎センター/長崎市 市民協働推進室

〒850-0022 長崎市馬町21-1 TEL.095-829-1125

注 ホッチキス針にご注意ください。